

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1995
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.67, (1995. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	七字慶紀, 若林真両教授退任記念論文集
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00670001--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

七字慶紀教授 略年譜・業績	7
若林 眞教授 略年譜・主要論文・著訳書一覧	13
マラルメの文学とは——作品の外なる作品	立仙順朗 23
彙報	(317)
現代のアンチテーゼ——米文学にみるアーミシユの生き方	山本 晶 (289)
ビュートルの『パリーロンドン—パリ』とその変奏	林 栄美子 (273)
Note sur Marcel Proust et le japonisme	鈴木 順二 (265)
Giono et la photographie	酒井 由紀代 (254)
「女というかたちのポエジ——序論」——ジョルジュ／ロール・バタイユ	阿部 静子 (243)
Le Petit chaperon rouge ou le traité à l'envers	片木 智年 (232)
plusを用いる比較級構文をめぐる	川口 順二 (219)

ブルーストの「書簡」——文学的営為との関連について——	牛場 暁夫	(202)
理性の夢——フランス十八世紀のテーマ系——	鷺見 洋一	(191)
Foerster はなぜ画家なのか	古屋 健三	(178)
『テレーズ・デスケルー』とシャルトロン事件	高山 鉄男	(168)
『ローゼンハインの六日物語』にみるヴィーラントのノヴェレ観	太田 達也	(155)
——近代文学ジャンル「再編」の一断面——		
形姿の内なる人間性	浜田 真	(141)
——『彫塑論』に見られるヘルダーの形態形成理論についての考察——		
一八七〇年頃のベルリン劇場事情——『米欧回覧実記』の記述に触れて——	井戸田 総一郎	(127)
ゲーテの少年童話「新パリス」とマンダラ——ユング心理学の観点から——	小林 邦夫	(105)
大学の授業科目としての異文化間コミュニケーション	アロイス・モースミュラー	(88)
K・Ph. モーリッツのイギリス旅行記	斎藤 太郎	(71)
血のクロニスト——ヨーゼフ・ナードラー研究ノート——	和泉 雅人	(55)
諸譚ときまじめ——エードウアルト・メーリケのことば遊び——	ラルフ・シュネル	(38)
A・G ヴェルナーとその時代	柴田 陽弘	(21)
手紙にみるカフカの『変身』	黒岩 純一	(1)